

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年9月5日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和6年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーブ寄せ植え教室 ・親子陶芸教室 ・メモリアルアート教室 ・わくわく楽しい絵本de読書感想文 ・高校連携事業プログラミング教室 ・流しそうめん教室 ・折り紙飛行機教室 ・タブレットで音楽をつくろう「WalkBand」教室 ・親子キャンドル教室 ・スマホ教室 ・放課後児童クラブin青少年の家 		
施設内容	<p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。</p> <p>利用開始日:昭和63年6月1日 延床面積:1,230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建</p> <p>施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)</p>		
職員体制	職員:所長1名 事務長1名 指導員3名 <u>合計:5名</u> ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		R05年度(決算)	R06年度(決算)	R07年度(予算)
収入	県支出金	21,985,000	22,226,000	23,139,000
	事業費収入	130,700	87,400	108,000
	収入計(a)	22,115,700	22,313,400	23,247,000
支出	事業費	672,686	541,058	600,000
	管理運営費	7,472,070	8,049,242	8,839,000
	人件費	11,262,326	11,478,086	11,695,000
	消費税	2,174,834	2,234,710	2,113,000
	支出計(b)	21,581,916	22,303,096	23,247,000
収支差額(a)-(b)		533,784	10,304	0
使用料収入		908,490	749,980	749,000

3 利用実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
利用者数	10,800	14,391	17,493	20,367	17,788	16,168
利用団体数	834	1,046	1,132	1,174	1,153	1,068

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】 ・学校との連携やチラシ配布等によるPRは継続できている。</p> <p>【意見】 ・従来通りの取組方法であるため、SNSなどで広く広報活動を展開すると利用者ニーズが高まり、使用率が向上するのではないかと。 ・引き続き学校との連携は”出前授業”等の実施により充実を図るよう努める必要がある。 ・立地条件が良く、都市型青少年教育施設として一定数の利用者を確保しているが、令和6年度は前年度を下回ったため、一層の取組が必要であると思われる。 ・利用者がR5年度と比較して約3,000人ほど減少している。減少していく傾向や理由が起きていないか、自己点検し、分析を行い、認識をしておくべき。 ・報告書に利用者に対するニーズ調査の結果一覧を添付し、特に改善要望についてどのような対応・対策を講じたのか、明らかにして欲しい。</p>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【意見】 ・アンケートの分析を工夫し、利用者のニーズを的確に把握できるよう努力が必要である。 ・Web等を活用し、主催事業や施設の利用状況等を積極的に発信し、簡単に施設が利用できるような取組を検討して欲しい。 ・申込方法や活用方法が、利用者のスマートフォンで簡単にできるような工夫を進めて欲しい。 ・利用者のニーズ調査の結果が不明。また、報告書への記載の内容から、利用者人数向上や満足度を高めるための工夫・努力が感じられず、取組内容がマンネリ化しているようにも見える。利用者の声だけでなく職員のアイデアももっと集めて、青少年の社会教育施設としての存在価値をさらに具体的に表現していくことを求める。</p>
③施設の運営について	<p>【評価】 ・経費削減や施設の見回り、暑さ対策のための通気など、限られた予算内で工夫されている。</p> <p>【意見】 ・経費削減に取り組んでいるが、支出における管理運営費は年々増加しており、十分な効果を上げていない。今後新たな視点で方策を考える必要がある。 ・職員の声を集めて運営に活かしているのかが不明である。利用拡大のための取組、利用者ニーズの受け止め、施設の安全管理、職員のコミュニケーションやチームワークについて職員からどのような意見が出ていて、その中でどう対応し、問題解決や施設の充実発展に繋げているのかの仕組みや努力について取り組んで欲しい。</p>

④利用実績	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から2,500人程度利用者数が減少している。減少理由を分析し、次年度の対策を考えていくことが望まれる。 ・実績が減少しているため、その原因・理由を把握していくことを求める。また、利用者がどのように感じているのか、施設に対する満足度や改善要望点について把握し、対策・対応を図って欲しい。 ・主催事業参加者が減少した。
⑤収支の状況	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい予算だが、ほぼ予算どおりに運営できている。無駄を削減し、管理運営費を抑えることができている。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営費が年々増加しており、削減が大きな課題である。 ・利用者削減に伴い、事業費収入も減少しており、この点からも一層の利用者増を図る必要がある。
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知青少年の家に必要なことは「県民への浸透を図るための情報発信」と「利用者ニーズの把握と分析」「利用者ニーズを受けた対策を職員とともに推進する」、この3つです。報告書に記載されている取組ではまだまだ不十分であると感じる。今年度はその視点をもって事業の推進にあたって欲しい。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。